

日本薬学会九州支部特別講演会 のお知らせ

日時：平成29年6月30日(金) 17:00~18:00

場所：長崎国際大学薬学部会議室（1F）

抗うつ薬の作用発現における 海馬歯状回ドパミンD₁受容体の役割

演者：首藤隆秀 博士
久留米大学医学部薬理学講座 講師

現在のうつ病の薬物療法は十分とはいえず、特に治療抵抗性うつ病に対する新規治療法の開発が望まれている。また、抗うつ薬の作用機序は様々な仮説が提唱されているものの、その全容は未解明である。近年、選択的セロトニン再取り込み阻害薬フルオキセチンの慢性投与が、マウスの海馬歯状回において、神経細胞の新生のみならず、成熟顆粒細胞においてドパミンD₁受容体の発現増加を含む様々な機能的変化を生じさせることがわかってきた。本講演では、海馬歯状回のドパミンD₁受容体に着目し、新たに解明された抗うつ薬の作用機序ならびに、抗うつ薬の有効性を向上させる新規治療法の可能性について、当研究室で得られた研究成果を紹介する。

（○首藤隆秀、黒岩真帆美、外角直樹、河原幸江、大西克典、花田雄樹、西 昭徳）

学生・院生の聴講も大歓迎です！積極的なご来聴をお待ちしております。

長崎国際大学薬学部薬理学研究室
山本経之

問い合わせ先

長崎国際大学薬学部薬理学研究室 山口 拓
〒859-3298

長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7

TEL/FAX : 0956-20-5631 (ex. 3716)

E-mail: ytaku@niu.ac.jp

